

人間学会 ニュースレター

上智人間学会

2015年3月10日発行

1. 第43回大会のご案内
2. 研究発表・紀要原稿の募集について
3. 第42回大会報告記
4. 会則の一部改訂について
5. 役員会・事務局からのお知らせ

1. 第43回大会のご案内

次回大会につきまして、役員会で協議しました結果、下記の要領で開催することに決定しましたので、ご案内申し上げます。

期日：2015年8月28日（金）・29日（土）

場所：御聖体の宣教クララ会 軽井沢修道院 黙想の家（長野県）

テーマ：ケアと連帯

第二次世界大戦終結から70年、現代の世界はさまざまな局面で新たな「暴力」や「分断」にさらされています。その一方で、近代社会が築き上げて来た「自由」や「人権」といった理念はいつしか「大きな声」ばかりを守る道具へと形骸化し、本当に守られるべき「小さな声」は見捨てられ、蹂躪されているように思われます。

声高に「正義」を自称する言葉の空回りが目立つ今、私たちは日々かき消されて行く弱者の小さな声の側から、社会の分断を繋ぎ止め、縫い合わせてゆかねばなりません。そのためには、一人一人の存在に向き合う「ケア」の眼差しとともに、より広いかかわりの場へと繋ぎ止める「連帯」への意志が必要ではないでしょうか。

今年のテーマ「共生社会」への視点を引き継ぎながら、アクチュアルな問題意識をさらに深めることができれば幸いです。現場からの報告や問題提起なども含め、皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

2. 研究発表・紀要原稿の募集について

☆第43回大会研究発表の募集

上記の大会テーマを共通課題として、研究発表を募集いたします。(質疑をのぞき25分程度)
なお、研究発表は他に発表したことのないもので、人間学に関係した内容に限ります。

【発表応募締切】

所定の申込用紙に記入の上、

2015年4月30日(木) 必着 で事務局へお送りください。

【発表応募に対する回答通知】

2015年5月末に、応募に対する回答通知を文書で本人宛に送付します。

【発表概要の事前提出期限】

大会研究発表の発表概要の提出期限は2015年8月17日(月)

A4版で3~5枚、原則としてワープロ作成

☆『人間学紀要』第45号論文の募集

2015年度紀要(2016年1月31日発行予定)の原稿を、下記の規定に基づき募集します。なお、これまでは大会研究発表と同時に論文の応募を受け付けておりましたが、本年度より研究発表の応募とは区別して、論文の募集を行うことにいたしました。従来は「原稿受理」の決定ののち「掲載可否」を改めて決定しておりましたが、今後はこれを一元化し、従来の原稿提出時期(9月末日)までに投稿された論文原稿を審査の上、掲載の可否を決定いたします。

【論文応募締切】

所定の申込用紙(7月発行ニュースレターに同封予定)に記入の上、原稿およびデータと合わせて

2015年9月30日(水) 必着 で事務局へお送りください。

【応募に対する回答通知】

2015年11月末までに、応募に対する回答通知を文書で本人宛に送付します。

【投稿規定】

- ・本学会会員に限る。
- ・他に発表したことのないもので、人間学と関わりのある新原稿であること。
- ・枚数は、論文は400字詰原稿用紙で40枚以内、研究ノートは同20枚以内(いずれも脚注を含む)相当とする。
- ・原稿は原則としてワープロ作成(A4版・40字×30行)とし、原稿提出の際、機種、執筆者を明記のCD-ROMまたはフロッピーディスク等も同封すること。
- ・図表等は必要最小限とし、そのまま印刷可能な状態のものを用意すること。
- ・原稿は所定の期日までに「上智人間学会事務局」宛に3部郵送すること。
- ・原稿には日本語表記に加えて、英文のタイトルおよび執筆者氏名を標記すること。
- ・原稿冒頭に掲載するため、400字以内の要約を添付すること。

3. 第42回大会報告記

去る2014年8月28日、29日の両日、上智大学7号館14階特別会議室にて、第42回上智人間学会学術大会が開催されました。今回は「共生社会を問い直す」を共通課題として、基調講演および6名の会員による発表が行われました。

基調講演では京都大学大学院の西平直先生に「共生社会とアイデンティティ～折り合いをつけるということ」と題してお話いただきました。先生は「理想的共生」を持続することの難しさを指摘され、表面的な「擬似共存」に陥らない共生の深みを、むしろ「ズレ」や「葛藤」を含みつつそれらと「折り合ってゆく」関係性のしなやかなダイナミズムとして論じられました。「大岡裁き」や「魔女ランダ」などの豊富な実例、身振り手振りを交えた柔らかい語り口が魅力的で、質疑応答も含めて大変豊かな思索と学びの場となりました。

研究発表は、やむを得ない事情により当初8名の予定が6名となりましたが、それぞれに充実した興味深い内容で、文学、思想、神学から社会的共生まで、幅広い視点からの考察に、活発な質疑応答が交わされました。(29日：兼子盾夫氏、高橋勝幸氏、30日：中澤慎一氏、佐々木隆氏、高倉節子氏、久保文彦氏)

総会では、会長選挙が行われ、瀬本正之会長が再選されました。また、学会会則の一部改訂が提案され、了承されました。

一日目のプログラムの後には恒例の懇親会が開催されました。基調講演の西平先生もご参加下さり、和やかな雰囲気の中、親睦を深めました。(記：崎川)

4. 会則の一部改訂について

2014年度総会(8月29日；上智大学)において、会則の一部改訂が承認されました。改訂の要点は以下の通りです(下線部が変更、追加箇所)。

・第5条で規定されている会員要件が、人間学の研究教育活動に関わる「上智大学教員」および「上智大学以外の教員」に限られていたため、これを下記のように変更した。

第5条 本学会は、下記の会員をもって組織する。

1. 人間学の研究教育活動に関わる上智大学教員で入会を希望し役員会の承認をえたもの。
2. 人間学の研究教育活動に関わる教育関係者で入会を希望し役員会の承認をえたもの。
3. 上記のほか、キリスト教ヒューマニズムの精神に理解を持ち、人間学の研究教育に関心のあ
るもので、入会を希望し役員会の承認をえたもの。

- ・第5条第3項に記載されていた会費未納者の退会規定を、第11条の会費規定の項目として記載することとした。
- ・第8条の役員規定の文言を明確にするため、記述を追加した。

第8条 役員会は、総会において選任された会長1名のほか、幹事2名、会計委員2名、編集委員若干名、会計監査委員2名によって編成され、本学会の運営にあたる。

改訂後の全文は『紀要』44号もしくはホームページをご覧ください。

5. 役員会・事務局からのお知らせ

★2015年度の大会は中軽井沢で開催することとなりました。軽井沢駅までは長野新幹線で東京から1時間10分、そこから「しなの鉄道」に乗り換えて5分ほどで中軽井沢です。長野県での開催は実に33年ぶり(!)、高原の爽やかな空気の中で親睦を深める事ができれば幸いに存じます。基調講演は、本学会役員として長年ご尽力いただいている、中村友太郎先生にお願いする予定です。

★2015年度よりの試みとして、紀要論文の応募時期を9月末とし、大会発表の応募時期と区別することにいたしました。ただし、実質的にはこれまでの「原稿締切」の時期を踏襲しておりますので、編集、発行のスケジュールは変わりません。変更の理由としては、応募を受理した論文の投稿が辞退される、あるいは実際に投稿された論文が学術的水準、もしくは形式的基準を満たしていないといった例が多くなり、結果として編集者の負担が増大していることが挙げられます。どのようなシステムが本学会にふさわしく、また望ましいのかは、さまざまご意見のあることと存じますので、役員会といたしましては、今回の試みをひとつの「たたき台」としてご議論いただきながら、今後の『紀要』の在り方を模索したいと考えております。

★ニュースレターに掲載する「書評」や「著書紹介」、またエッセイや近況報告、お知らせなどの原稿も随時募集しております。ご希望の方は事務局までお問い合わせ下さい。

★ご逝去

Sr. コルテス, ロサマリア (元上智大学短期大学部教授、聖マリア修道女会)

2015年1月6日、プエンテ・ヘニル (スペイン) にて、享年74歳。

上智人間学会ホームページアドレス <http://ningen-gakkai.org>

上智人間学会 役員会／事務局

会 長 瀬本正之
幹 事 高山貞美 崎川 修
会 計 武田なほみ 丹木博一
紀要編集 中村友太郎 崎川 修
会計監査 長島世津子 堀井泰明

事務局 (担当: 田代奈津子)
〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1
上智大学神学部(キリスト教人間学) 事務室内
TEL 03-3238-3529 FAX 03-3238-3945
E-mail: theolo-2@sophia.ac.jp